

戦後80年・世界記憶遺産登録10周年記念事業

舞鶴引揚記念館巡回展



IN
名古屋

入場
無料

開催日時
2026年 3月9日~15日
10時~18時(最終日は17時まで)

開催場所
中日ビル 5階 全国センター広場

ミュージアムトーク

会期中毎日11時、14時

舞鶴引揚記念館 学生語り部が
出演予定

お問い合わせ

舞鶴引揚記念館 TEL:0773-68-0836
〒625-0133 京都府舞鶴市字平1584番地 引揚記念公園内

主催 舞鶴引揚記念館
舞鶴市世界記憶遺産保存活用推進委員会
協力 中日新聞社

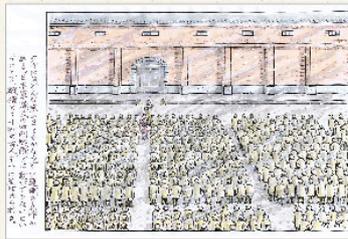


歴史が語る未来へのメッセージ

本巡回展は、舞鶴市が所蔵する「シベリア抑留」と「引揚事業」に関する資料が平成27年10月にユネスコ世界記憶遺産に登録されて10周年となる記念事業として、また戦後80年をむかえ、薄れゆく引き揚げの歴史と平和への願いを次世代へ継承することを目的として開催いたします。第2次世界大戦の終結に伴い、60万人を超える日本人がシベリアをはじめ、旧ソ連全土の1800カ所以上の収容所に抑留され強制労働を強いられた史実や、海外に残された多くの軍人、民間人を帰国させるため、引揚港に指定されたまちが、海外からの引揚者を受け入れた史実について紹介します。



白樺日誌



回想記録絵画



手作りの麻雀牌



スケッチブック

舞鶴引揚記念館について



第二次世界大戦後、旧ソ連に抑留された人々と外地からの引き揚げの労苦を伝える資料館として、抑留体験者などを中心に全国の方々からの寄附を受け昭和63年(1988)に設立されました。舞鶴へ上陸を果たした引揚者およそ66万人のうち7割がシベリアからの生還者でした。館内の展示には、シベリアから日本の家族へ送られたはがきや日誌などが展示されています。平成27年(2015)には収蔵資料の中から570点がユネスコ世界記憶遺産に登録されました。

舞鶴引揚記念館 学生語り部

大学生から中学生まで46人が登録。館内の案内や平和学習の同世代との交流など“次世代による”継承活動をしている



中日ビル アクセス

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目1番1号
TEL:052-263-7050(コールセンター/10:00~20:00)

【最寄駅】

- 地下鉄東山線・名城線「栄」駅
 - 名鉄瀬戸線「栄町」駅から地下街で直結
- ※地下街13番出口すぐ横に当館地下出入口がございます。